

drupa に参考出品

デジタル印刷機を共同開発 B2 判液体トナー方式、毎時 8000 枚

(株)ミヤコシ(宮腰巖社長)とリョービ(株)(浦上彰社長)は、B2 判液体トナー方式デジタル印刷機を共同開発したことを、3 月 27 日リョービ東京支社で開かれた記者会見で明らかにした。2012 年 5 月 3 日から 16 日までドイツのデュッセルドルフで開催される「drupa2012」にミヤコシブースで参考出品する。

同機は、ミヤコシが持つ超微粒子液体トナー電子写真技術と、リョービが持つ高速用紙搬送技術を融合することによって、B2 判毎時 8000 枚の高速印刷が行えるデジタル枚葉印刷機で、このクラス世界初となる。両社では、2013 年度中を目処にそれぞれのブランドで発売を計画している。

drupa ミヤコシブースに出品

近年、小ロット、短納期、バリエブルデータに対応したデジタル印刷技術が注目を集めており、さまざまなデジタル印刷機が発売されている。一方、既存のオフセット印刷は大ロットに強く、高品質、低いランニングコスト、高速印刷という点では、先行技術であるオフセット印刷に優位性があるため、両社のメリットを兼ね備えた、新しい方式の印刷機が求められていた。このようなニーズに対して、ミヤコシは drupa2008 において輪転機で実現していた 1200dpi の高解像度と超微粒子液体トナー電子写真技術を、リョービはオフセット枚葉印刷機で培った高速用紙搬送技術をそれぞれ結集し、最大 B2 判用紙への高速印刷が行える新しい方式の印刷機の開発を行った。

近年、業務用インクジェットプリンターも高品質化が進んでいるが、当デジタル印刷機は超微粒子液体トナーを感光ドラムから用紙へオフセット転写させることから、インクジェット方式では出来ない繊細な印刷表現で、よりオフセット印刷に近い品質を持たせることが出来る。

この B2 判液体トナー方式デジタル印刷機は、小ロットのカタログ、ポスター、パッケージなどの印刷用途に加え、高品質な大判のバリエブル印刷もターゲットとしており、drupa2012 における反応を見極め、発売に向けての準備を進めていく。

記者会見の席上、宮腰社長は、枚葉方式によるデジタル印刷機の開発について、「今後、紙媒体の多くがデジタル化していくことが予測される。比較デジタル化されにくい紙媒体の印刷に応用することができ、また、長年印刷業者が慣れ親しんできた枚葉方式でのデジタル印刷機を開発できないかとの思いから、リョービ様のご協力を得て、念願の枚葉タイプの開発に至った。」と説明した上で、「リョービ様が永年培ってこられた高速用紙搬送の高度な技術と、私共が数年来、研究開発を続けてきた液体トナーの印刷技術の融合によって、このたびの新製品を発表することができ、大変光栄に思う」と述べた。

一方、浦上彰社長は、「印刷業界は IT 化、デジタル化の進展と共に、デジタル印刷機が普及し、その高性能化や大型が進んでいる。当社としてもデジタル印刷機が普及し、その高性能化や大型が進んでいる。当社としてもデジタル印刷機市場への参入の機会を窺いながら、研究を進めてきた」とし、「ミヤコシ様との出会いに、お互いの強みを用いることで新しいコンセプトの印刷機の実現が可能だと考え、両社で共同開発を進めた。当社の強みとし自負している用紙の高速搬送技術をもって、デジタル印刷機の開発にも

寄与できると考えている。

オフセット印刷機にデジタル印刷機を加えた豊富な製品ラインナップにより、国内外の多様なニーズに幅広く応えていきたい」との姿勢を明らかにした。

【主な仕様】

印刷方式 : 湿式電子写真方式

解像度 : 1200dpi×1200dpi(4色対応)

使用トナー : 超微粒子液体トナー(イエロー、シアン、マゼンタ、ブラック)

※トナー濃度自動調整機能付

定着方式 : 赤外線ヒーター+定着ロール方式

最高印刷速度 : 8,000枚/時

最大用紙寸法 : 788×600mm

最小用紙寸法 : 410×290mm

最大印刷面積 : 765×580mm

用紙坪量範囲 : 64~360g/m²(最大紙厚:0.4mm)

(2012年04月18日 オール印刷 掲載)